

ビジネスでSDGsを達成  
UNDP/JIN/三菱総合研究所

人道支援を身近なものに  
外務省

社員を国連ボランティアに派遣  
UNV

アフリカの栄養改善に貢献  
味の素

インフラ輸出の競争力問う  
ARAKI-JUKU

ほか

[UNDP/JIN/三菱総合研究所]

## ビジネスでSDGsを達成

社会課題の解決を目指すプラットフォームの設立を発表

国連開発計画(UNDP)と(一社)Japan Innovation Network(JIN)は7月25日、(株)三菱総合研究所(MRI)の協力の下、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に寄与する革新的なビジネスの創出を目指す連携プラットフォーム「SDGs Holistic Innovation Platform」(SHIP)を設立した。これに伴い、都内で記者会見を開いた。

### デジタル化で新市場を創出

当日は、JINの西口尚宏専務理事が、SHIPの設立背景や活動内容について説明した。

西口氏は、社会課題をビジネスで解決しようとする動きが世界的に活発化しつつあることに触れ、「昨年9月に採択されたSDGsでも、民間企業の国際ビジネス活動を通じた目標の達成が期待されている」と語った。

同氏によれば、全ての国に共通する社会課題を提示するSDGsには、まだ充足されていないニーズに関するヒントが散りばめられており、こうしたニーズを解決することでイノベーションを起こすことが可能だという。新たに立ち上げられたSHIPは、このイノベーションプロセスに近年のデジタル経済の進化を組み合わせることで、これまでにない新市場や産業の創出を目指す。例えば、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」については、医療現場のデジ

タル化を促進し、雑用を劇的に削減することによって、医師を増員するよりも効率的かつ効果的に目標の達成に貢献するという。

### エコシステムを拡大

構想の実現に向け、SHIPは今後、イノベーションの創出につながるエコシステムの構築・拡大に取り組んでいくという。エコシステムとは、複数の企業やアクターがパートナーシップを組み、互いの資本や技術を生かしながら共存共栄していく仕組みを言う。

JINは現在、米国のシリコンバレーをはじめ、世界各地のイノベーション・ハブやスタートアップ企業、来日中の海外留学生、大学などとエコシステムを構築している。今後、さらにUNDPやMRI、民間企業、各国政府、開発援助機関、経済団体、NGOなど多様なアクターを加え、

拡大していく考えだ。

さらに、SHIPはこのエコシステムを活用し、各アクターの知恵や人脈を結集し、イノベーション機会の探索やグローバルネットワークの形成、課題解決型ビジネスモデルの構築にも取り組むという。具体的には、SDGsに関する知識を普及するための公開フォーラムを開催するほか、課題の発見と解決に向けて仮説の創出・検証を行うプログラムも定期的を実施する。さらに、事業の実現に向けたリーンスタートアップを支援するワークショップも開催する予定だ。こうしたプログラムは、今年10月から開始される。



SHIPについて説明する西口氏(右)